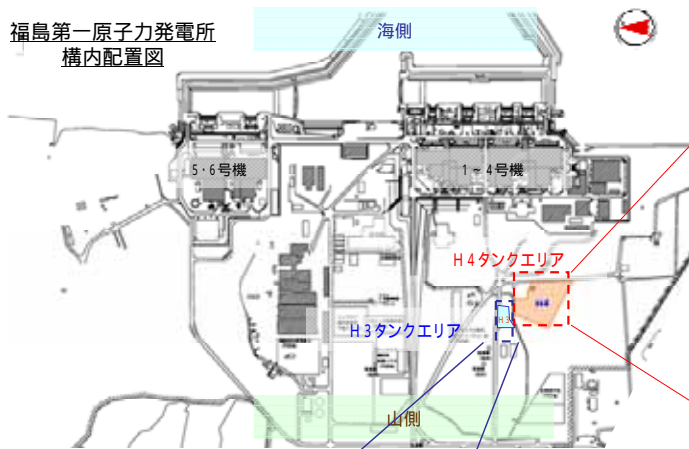


タンクからの汚染水漏えいの現状と今後の対策について

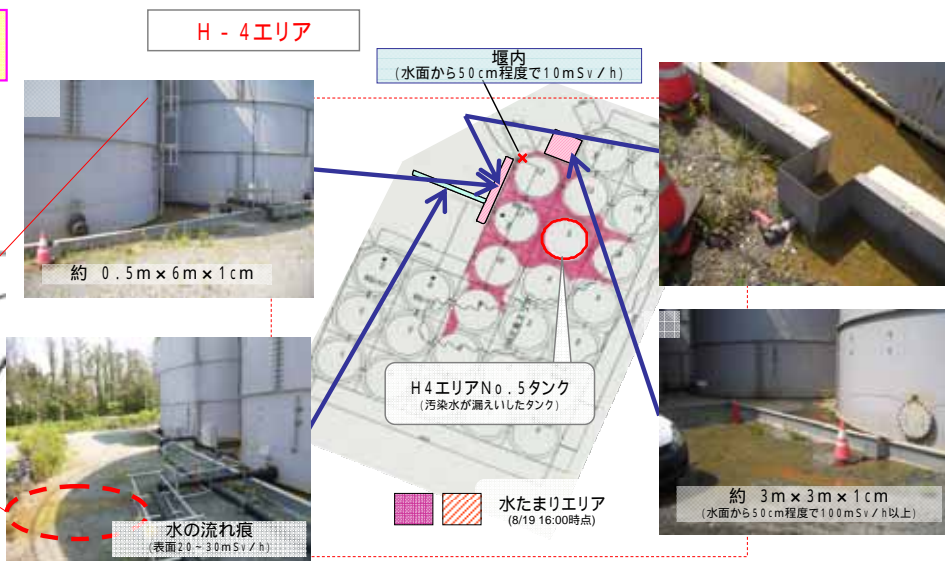
H4タンクエリアにあるボルト締め型（フランジ型）タンク（No. 5タンク）から高濃度の汚染水が約300トン漏えいしていることを8月19日に確認しました。大半は土にしみこんでいると推定され、原因は現在確認中です。No. 5タンクからの水の移送（8月21日に完了）、汚染水がしみこんだ土壌の回収（8月23日から実施）などのリスク低減のための対策を執ってまいります。

漏えいしたH4エリアNo. 5タンク周辺の状況

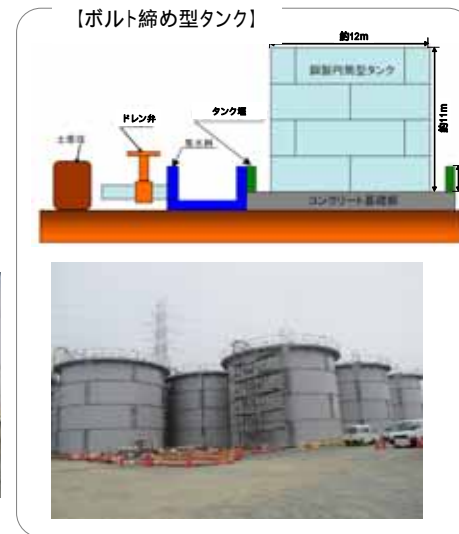
福島第一原子力発電所
構内配置図



H-4エリア

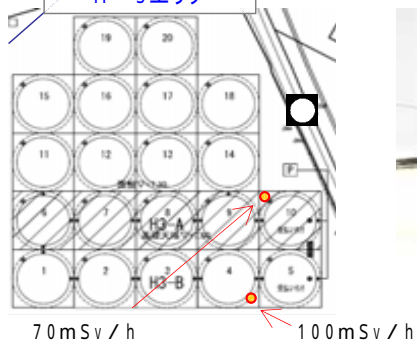


【ボルト締め型タンク】

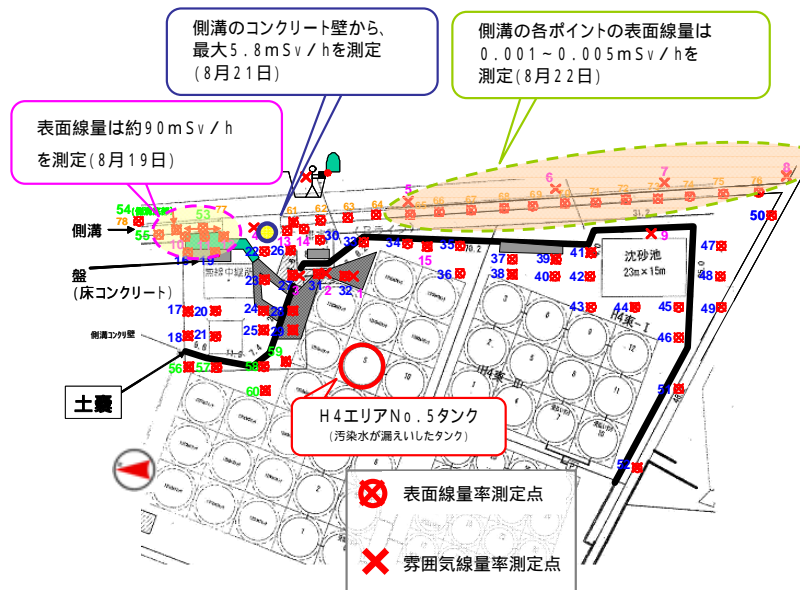


【ボルト締め型タンクの総点検 (8月22日実施)】

H-3エリア



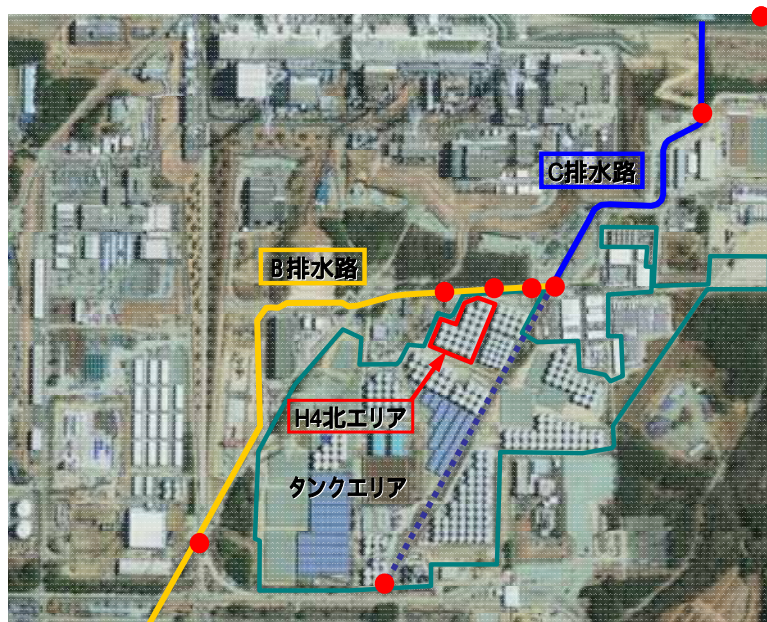
【周辺地表面の線量調査】



リスク低減のための対策

リスク低減のための対策	実施済みおよび実施中の対策 (8月中)	<p>【対策】ボルト締め型タンクの全数点検 (8月22日実施済み) (1~4号機の汚染水を貯蔵しているタンク全930基のうち、約300基がボルト締め方タンク)</p> <p>【対策】No.5タンクと同様に一度設置した後に移設したタンクからの水の移送 (No.5タンクの汚染水は8月21日に、No.10タンクは8月27日に移送完了。No.3タンクは8月29日に移送開始。)</p> <p>【対策】汚染土壌の回収 (8月23日から実施中)</p> <p>【対策】ボルト締め型タンクまわりの堰の点検・補強 (漏えいのあったH4エリア外部の土壌には盛土および遮水シートを追加設置済み)</p> <p>【対策】モニタリングの強化 (海洋への流出可能性を調査中)</p>
	緊急対策 再発防止策	<p>【緊急対策】パトロールの強化 (要員を50名増強し、頻度を1日2回から4回へ。記録方法も改善。)</p> <p>【緊急対策】汚染水タンクまわりの堰排水弁 (ドレン弁) を閉じる運用に変更</p> <p>【緊急対策】汚染水タンク内の水位管理方法の改善 (サーモグラフィーによる管理手法を導入)</p>
	抜本対策 追加的に検討	<p>【抜本対策】ボルト締め型タンク全数での水位計設置および集中管理システムの導入</p> <p>【抜本対策】溶接型タンクの増設や、ボルト締め型タンクのリプレイス</p>

【対策】モニタリングの強化 (海洋への流出調査)



【モニタリングの値 (抜粋)] (単位: ベクレル/リットル)

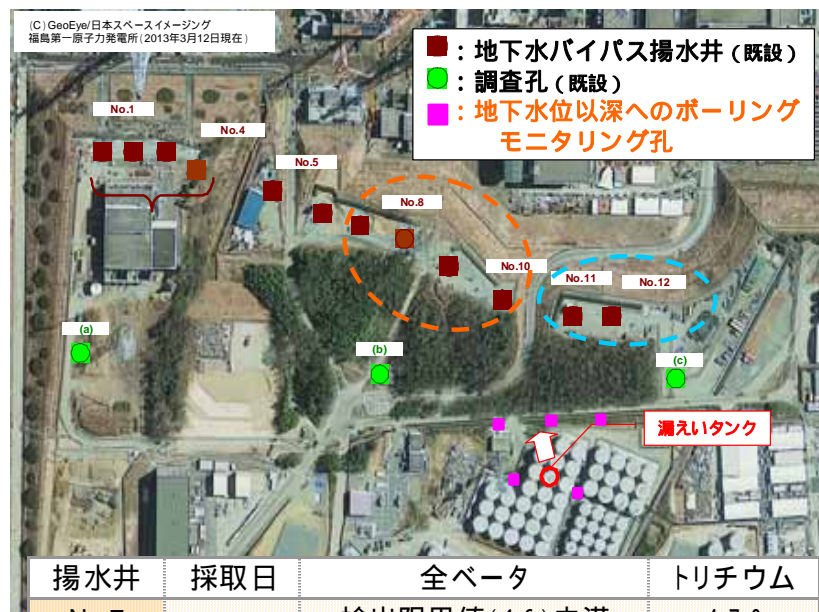
福島第一南放水口付近海水 (採取日: 9月1日)

- ・セシウム137 : 検出限界値 (1.1) 未満
- ・全ベータ : 検出限界値 (19) 未満

B - C排水路合流地点 (採取日: 9月1日)

- ・セシウム137 : 検出限界値 (25) 未満
- ・全ベータ : 140

地下水バイパス・揚水井との位置関係



揚水井	採取日	全ベータ	トリチウム
No.7	8月29日	検出限界値 (16) 未満	470
No.8		検出限界値 (16) 未満	56
No.9		検出限界値 (16) 未満	38
No.10	8月30日	検出限界値 (16) 未満	290
No.11		検出限界値 (16) 未満	300
No.12		検出限界値 (16) 未満	900

単位: ベクレル/リットル

【参考】トリチウムの法令告示濃度: 60,000